

畝傍東通信

4月号

2024年4月12日発行

畝傍東小学校

学校だより

今年度、畝傍東小学校の校長として勤務させていただき、早川賀英子（はやかわかえこ）と申します。右にお示したような学校をめざし「チーム畝傍東」として職員一同力を合わせて頑張りますので、よろしくお願いいたします。今年度も地域・保護者の皆様方のご協力を得ながら、教育活動を進めてまいります。この畝傍東通信や各学年・学級だより、学校ホームページ等で情報発信をします。今後ともよろしくお願いいたします。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

4月10日に本校第49回目の入学式を行いました。96名の新入生は、きらきらした瞳とすてきな笑顔で元気に入学してくれました。本年度は、6年生が在校生の代表として入学式に出席し、お祝いの言葉を述べました。

これからの小学校生活、たくさんのお話を学び、たくさんの友達をつくり、楽しく元気いっぱいにご活躍ください。

また、2年生から6年生の児童のみなさんは、ひとつ上の学年に進級しました。健康に気をつけて、みんなで力を合わせて楽しい学校生活が送れるようがんばっていきましょう。



職員紹介

校長 早川 賀英子	教頭 小林 一實	主幹・教務 村田 寛敏
養護 福田 実来	栄養 横地 博子	事務職員 片井 拓郎
音楽 弓場 章江	図工 小林 典子	外国語 折戸 大輔
1年1組 檜 由紀	2年1組 白倉 慎也	3年1組 谷口 真互
1年2組 島崎 美穂	2年2組 久徳 香奈	3年2組 神吉 明日穂
1年3組 浅田 彩乃	2年3組 菅野 友貴	3年3組 徳矢 寛基
4年1組 片岡 詠子	5年1組 荒木 啓二朗	6年1組 河野 雄一
4年2組 榎谷 俊介	5年2組 岩井 泰樹	6年2組 黒田 直樹
4年3組 馬場 迪耶	5年3組 岡 裕人	6年3組 殿村 恵津子
1・5年全体 竹内 育代	5年4組 森内 菖	教科担任（5・6年理科） 田村 可奈恵
3・6年全体 山口 志保子	2年全体 田中 麻友	3・4年全体 吉岡 史朗
4・5年全体 巽 幸雄		
少人数指導担当教員	杉村 眞優美	いじめ不登校対策教員 榎田 三貴
学校全体の支援教員	末廣 泰子 中村 真之介 松村 道代 米田 輝子 福井 智美	学校用務員 榎谷 吉昭

※北村 美保、小西 莉依の各先生は現在育児休業中です。

3月22日に離任式を行いました。榎橋校長先生・小峠・喜多・高下・増田・坂本先生は退職され、小原高橋・中村知子・竹村・南先生・西岡主事が異動され、子どもたちも寂しい思いをしました。

しかし、新たに小林一實教頭先生・杉村・殿村・片岡・馬場・島崎・徳矢・白倉・福田・竹内・末廣先生片井主事の12名の先生を迎えることになりました。また、田中先生は育児休業から復帰されました。今年度の担任担当は上記のようになります。よろしくお願いいたします。



畝傍東小学校グランドデザイン

めざす学校像

学校教育目標：豊かな感性と実践力をもち、自ら学びたくましく生きる児童の育成

協働する学校

全職員がすべての児童にかかわる

魅力ある学校

児童にとって活躍の場がある

信頼し合う学校

地域や保護者と連携して進める

開かれた学校

児童のがんばりを情報発信する

みんなが明日も学校に来たいと思える居心地のよい明るく元気な学校！

めざす児童像

やさしい子

よく考える子

たくましい子

明るく元気な子

家庭・地域との連携

- 地域の人たちの協力による学校サポート活動
- P T A 活動
- 学校・地域パートナーシップ事業
- 学校評議員会
- 畝傍東小ボランティア会議との連携
- 情報発信

頼もしい教職員

- 課題意識をもつて、授業改善等に取り組む教職員
- 子ども理解をもち、主体的に関わり組む教職員
- 学校運営に優れ、子どもとよく関わり組む教職員
- 服従意識をもち、主体的に関わり組む教職員
- 規範意識の高い教職員

■ 「チーム畝傍東」→課題に対し「組織」で対応できる体制づくり
※一人で抱え込まない。チームとしてみんなで支え合

■ プロの教師として

- (1) わかる授業づくり・・・基礎・基本の徹底、個に応じた指導。
- (2) 児童の自己有用感の育成・・・いろいろな人との交流体験を通して、人の良さに気づき、人とつながることの大切さを感じ取らせる。
- (3) 学ぶ意欲の育成・・・児童の「がんばり」を認め、ほめて、励ます。
- (4) 心を育てる・・・支え合い励まし合おうとする学級集団づくりから。

■ 特色ある学校づくり

- (1) 確かな学力の育成・・・学ぶ意欲を高めて、基礎学力の定着を図る。
※言語活動の充実を図り、主体的に学ぶ力を育む。
- (2) 体力向上・・・「日常的な外遊び」の推進、「縄跳び・かけ足タイム」の実施
「食育・保健指導等を通しての健康づくり」を推進する。
- (3) たてわり活動や学年・学級集団づくりの充実・・・多様性を認め合える児童の育成と、幅広い人間関係づくりを図る。
- (4) 自己肯定感の育成・・・児童の自己有用感を高めることで、自己肯定感を育み、夢や目標をもって前向きにがんばる児童を育てる。
※達成感を味わえる「成功体験」を通して自信をもたせ、次への意欲や主体性を育てる。

<PDCAサイクルによる学校評価の充実>

- 教育活動の評価
- 各部・学年の評価
- 職員の自己評価
- 学校関係者評価
- 保護者アンケート
- 児童アンケート

各行事や学期末の評価
(チェックシートの活用等)

人事評価

学校評価

責任

信頼

